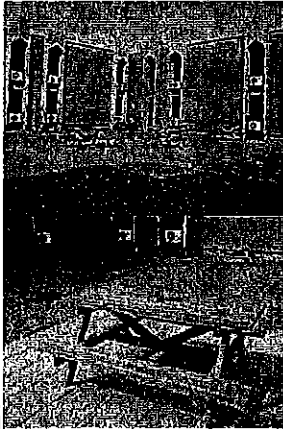


バスラ日誌 (6月7日)

1 喫煙者に対する風当たりは、近年とみに増してきて、いずこでも肩身の狭い思いをしている。先日紹介したMND (SE) 司令部の喫煙所も、厳しい暑さと、コーヒーの飲み残し攻撃に晒される過酷な場所であった。

『ウソだろ?』我が目を疑った。まるで、リゾート地の公園のように、真新しいベンチが12コも設置されているではないか。喜んでいいのだろうか?もしかしたら、ここからも喫煙者は追い出されるのではないか?そんなにいい話があるわけがない。そう言えば、先日張り紙がだされ、「吸い殻を煙缶に捨てなさい。さもないとあなた方はこの場所を失う。」なんて書かれていたし。

でも、今のところ喫煙禁止ではなさそうだ。これまで炎天下、立ったままで汗を拭き吹き煙草を吸っていた仲間達は、今ゆったりと腰をおろし会話を楽しんでいる。でも、5分以上座っていると汗だくになるため、ウルトラマンみたいに、3分くらいでカラータイマーが鳴り出す。どこのどなたか知らないが、恵まれない喫煙者に愛の手を差し伸べてくれた方に感謝し、引き続き情報収集を兼ねて喫煙所通いを続けようと思う。



2 司令部と宿舎地区の移動には、高機動車かバスを使っている。時々バスを待っている間あるいはバスの中で、面識のない他国軍人と話をすることがある。目的地に着くまでの間、無言で過ごすのも気まずいので、私は必ず天気の話(すごく暑い)をして、こちらに来てどれくらい経つのかを聞くようにしている。この前、2人の英国軍人と話をした時、いつものようにすごく暑いねと言った後、ここにどれくらいいるのか聞いてみると、一人は6ヶ月と2週間で明日帰国、一人は12日だった。明日帰る人には、おめでとう(Congratulations!)と言い、もう一人には、ようこそ(Welcome)と声をかけた。今まで様々な人と話をしたが、英国軍人ではイラクが2回目、3回目という人がほとんどで、初めてという人の方が少なかったように思う。英国はアフガニスタンにも多くの兵力を展開しており、それ以外にもドイツやフォークランド、コソボ等に部隊が駐屯しているようだ。我が自衛隊は、今回初めて大規模に部隊を海外へ展開することになったが、今の英国軍人の姿を見て、我々の将来を想像せずにはいられなかった。

3 本日快晴。バスラ4名、極めて健康。